

資料4

IV

施策評価結果

## 目 次

---

<b>IV-1 施策評価結果</b> .....	<b>1</b>
(1) 第1章 人がつながるまちづくり .....	<b>1</b>
(2) 第2章 人を育むまちづくり .....	<b>15</b>
(3) 第3章 暮らしを支えるまちづくり .....	<b>33</b>
(4) 第4章 安全・安心のまちづくり .....	<b>44</b>

## 第1章 人がつながるまちづくり

### 第1節 ふれあいのまちづくり

- 1 町民参加の促進
- 2 コミュニティ活動の充実
- 3 人権と平和の尊重
- 4 男女共同参画社会の実現
- 5 国際交流の促進
- 6 産学官連携

### 第2節 町民の視点にたったまちづくり

- 1 行政運営
- 2 財政の健全化
- 3 窓口サービスの向上
- 4 広報・広聴活動の充実
- 5 情報公開・個人情報保護
- 6 情報化の推進
- 7 広域行政の推進

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	町民活動課	
副担当課	課	政策企画課, 秘書広聴課	
総合計画の 位置づけ	章	1	人がつながるまちづくり
	節	1	ふれあいのまちづくり
	項	1	町民参加の促進

## 1 目指すまちの姿

町民と行政が協働で様々なまちづくりに取り組み、町全体が活性化しています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況			
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
政策決定過程における町民の参加 1111	町の政策決定過程に町民が参加し、町民の意見や提言を政策に反映しています。	公募委員割合	目標	3.0%	4.0%	5.0%	6.0%	7.0%	B	今後、町民討議会や地域づくり会議がさらに進展することにより、町民の意見が町政に反映される機会が増加すると考えられる。現在のコロナ禍において、町政への参加を推進するためには、ICT（リモート）等を組み合わせた参加方式を積極的に取り入れる必要がある。	
			実績	2.9%	3.3%	3.2%	3.9%				
		町政に参加していると感じている町民の割合	目標	-	100%	-	100%	100%			C
			実績	新規	-	61.2%	-				
協働を進めるための人づくり 1112	町職員や町民の協働の意識が高まり、各団体や行政などで協働のまちづくりを担う人材が育成されています。	講座・研修会実施参加者数（年間延人数）	目標	90人	93人	96人	98人	100人/年	C	市民活動コーディネーターが様々なところで登録を呼びかけた成果として、市民活動登録団体数は増加したが、コロナウイルス感染症拡大防止により講座や研修会ができなかった。今後は県等主催のWEBを活用した講座の開催についても考えていきたい。	
			実績	86人/年	46人	15人	8人				
		町民活動センターに登録する市民活動団体数	目標	86団体	87団体	88団体	89団体	90団体			A
			実績	80団体	86団体	94団体	107団体				
連携から協働へ 1113	連携事業から協働事業へと転換が図られています。	連携事業から協働事業への移行	目標	1件	2件	3件	4件	5件	D	連携事業として機能しており、協働の6つのルールに適合させ、協働事業として転換させる意義が薄い。	
			実績	0件	0件	0件	1件				
協働のまちづくりの推進 1114	町民と行政が様々な場面で協働のまちづくりに取り組み、目的を共有しながら協働事業を進めています。	協働事業の実施件数	目標	5件	5件	6件	6件	7件	C	「町民討議会」について、町民の町政参加を推進していく観点から、現状町職員を中心に会議を運営・展開しているが、今後参加者の中から適任者を選択し、その中で実行委員会を編成し、実行委員主体で討議会を運営していくことを目指す。そのために町民の機運を高めるには、町職員の積極的なリードが不可欠と捉えている。	
			実績	4件	4件	4件	5件				
		町民討議会の開催	目標	2回	2回	2回	2回	2回/年			C
			実績	-	2回	0回	0回				
			目標								
			実績								

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	町民活動課	
副担当課	課	商工観光課 生涯学習課 中央公民館	
総合計画の 位置づけ	章	1	人がつながるまちづくり
	節	1	ふれあいのまちづくり
	項	2	コミュニティ活動の充実

## 1 目指すまちの姿

地域の特性を活かした自主的、自立的な地域コミュニティ活動が活発になり、全町的に広がっています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況			
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
地域コミュニティの活性化 1121	主体的に地域コミュニティ活動へ参画する町民が増え、地域での交流が活性化しています。	行政区加入世帯数の割合(9月末現在)	目標	/	80%	80%	81%	81%	82%	B	行政区(自治会)の必要性、有益性を理解してもらうこと。
			実績	79%	79%	78%	77%				
交流の機会・場の充実 1122	町民が自主的に交流を深め、地域のつながりを強めています。	ふれあい地区館活動の実施行政区数【2413に再掲】	目標	/	66行政区	66行政区	66行政区	66行政区	66行政区	B	コロナ禍における事業計画と事業実施判断及び事業実施の際の十分な感染予防対策と事業参加への住民意欲の向上。
			実績	58行政区	51行政区	3行政区	16行政区				
		「まい・あみ・まつり」参加者数	目標	/	63,000人	63,000人	64,000人	64,000人	65,000人	B	新型コロナウイルス感染症状況を鑑み、町内での感染拡大防止の観点と町民・来場者の安全を最優先に考え、今年度事業の中止を実行委員会にて決定した。町民意向調査を実施し、次年度事業の新企画等を提案する。
			実績	63,000人	63,000人	0人	0人				
			目標	/							
			実績								
			目標	/							
			実績								
			目標	/							
			実績								

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	社会福祉課	
副担当課	課	予科練平和記念館, 指導室	
総合計画の 位置づけ	章	1	人がつながるまちづくり
	節	1	ふれあいのまちづくり
	項	3	人権と平和の尊重

## 1 目指すまちの姿

町民が、人権や平和の尊さ・重要性について学ぶ機会が充実し、平等で平和なまちが形成されています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
人権尊重に向けた 啓発活動の推進 1131	町民の誰もが差別を受けず、互いの人権を尊重し合うまちになっています。	研修会への参加者数	目標	/	69人	69人	69人	69人	69人/年	B	障害に対する正しい知識や認識を持ち、理解を深めていただくために専門的知識をお持ちの先生による講演会を行った 演題：「心のバリアをはずして」 ※手話の同時通訳あり ※生涯学習課、社会福祉課共同開催
			実績	45人/年	194人	0人	46				
平和行政の推進 1132	町民が平和の大切さや生命の尊さを認識しています。	予科練平和記念館の来館者数【2415に再掲】	目標	/	50,000人	51,000人	53,000人	55,000人	60,000人/年	D	新型コロナウイルス感染拡大に伴い臨時休館やイベントの中止を余儀なくされた。 開館日数は通常期の308日に対し、87日(28.25%)に止まり、来館者数もコロナ禍以前の平成30年度比△81.5%と大幅に減少した。
			実績	51,128人/年	44,528人	19,546人	9,444人				
		予科練平和記念館のイベント開催数【2415に再掲】	目標	/	12回	12回	13回	15回	15回/年	D	コロナ禍にあって、平和の大切さ、生命の尊さを発信する方法とし、直接来館以外にもウェブ等を活用した発信方法の拡充を図る。
			実績	12回/年	14回	0回	0回				
豊かな心を育み生命の尊さを伝える教育の充実 1133	児童生徒が、生命を大切にす豊かな心を持ち、健やかに成長しています。	平和記念式典への派遣者数	目標	/	8人	8人	8人	8人	11人	B	新型コロナウイルス感染症の感染予防により、実施せず。
			実績	8人	8人	0人	0人				
		道徳教育に関する教職員の研修会	目標	/	1回	1回	1回	1回	2回/年	B	教育活動の要で、教科化が図られた道徳について研修を行っている。
			実績	1回/年	1回	1回	1回				
			目標	/							
			実績								

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	D	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている		

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	II	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要		

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	町民活動課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	1	人がつながるまちづくり
	節	1	ふれあいのまちづくり
	項	4	男女共同参画社会の実現

## 1 目指すまちの姿

性別等にかかわらず誰もが自らの意志によってその個性や能力を発揮でき、活躍できる社会になっています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
男女共同参画 社会の実現に 向けた啓発活 動の充実 1141	男女共同参画への関心と理解 が進み、男女が互いを尊重して 様々な活動に取り組んでいます。	男女共同参画社 会講演会・講座へ の参加人数	目標	1000 人	1000 人	1000 人	1000 人	1,000 人/年	C	「男女共同参画」というものを町民に身近に 感じてもらい、その本質を理解してもらうことが この事業の狙いであることから、さらなる事業 の周知及び講座内容の選択に工夫を凝らし ていく必要がある。
			実績	1,395 人/年	1,349 人	338人	287人			
		出前講座の実施 回数	目標	5回	6回	7回	8回	10回/ 年	C	
			実績	5回/年	7回	3回	0回			
誰もが活躍で きるための環 境整備 1142	性別等にかかわらず、様々な立 場の人があらゆる社会活動に参 画でき、活躍できる環境になっ ています。	審議会等における 女性委員比率	目標	30%	30%	30%	30%	30% 以上	B	「第4次男女共同参画プラン」をベースに 様々な立場の人があらゆる社会活動に平等 に参画し、活躍できるようにプランの進捗状 況を注視して検証していく必要がある。
			実績	28.2%	29.3 %	33.2 %	33.1 %			
		男女共同参画セ ンター講座への男 性参加率	目標	30%	30%	30%	30%	30%	B	
			実績	28.9%	26.3 %	0%	33.6 %			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評 価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必 要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	町民活動課	
副担当課	課	指導室	
総合計画の 位置づけ	章	1	人がつながるまちづくり
	節	1	ふれあいのまちづくり
	項	5	国際交流の促進

## 1 目指すまちの姿

**町民が豊かな国際感覚を身につけ、町内在住外国人が暮らしやすいまちになっています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
<b>国際交流活動 の推進 1151</b>	町内外で、町民が外国人と積極的に交流しています。	在住外国人の交流事業などへの延べ参加者数	目標	130人	140人	150人	160人	170人/年	<b>C</b>	姉妹都市の「スーペリア市」とリモートによる交流を図りたい狙いがあるが、大きな時差の関係で実施が難航している。ここを如何にクリアして実施に踏み込めるかが課題である。
		実績	52人/年	23人	0人	13人				
		姉妹・友好都市交流と国際交流活動への延べ参加者数	目標	714人	728人	742人	756人	770人/年	<b>C</b>	
		実績	691人/年	510人	304人	825人				
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>C</b> 令和3年度はコロナ感染拡大の影響で海外の姉妹都市及び友好都市との交流が思うようにできなかった。今後、このような状況下においても、できる範囲で工夫しながらリモート会議等の開催を目指して交流を深めていく。

## 4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>III</b> コロナの状況あるいはアフターコロナを見据えて、訪問交流、日本語教室等の実施方法を工夫してほしい。PRについては、会員向けに活動PRは行っているが、一般町民向けのPRがまだ不足しているので改善の余地がある。 協会事務局の事務処理能力について、スキルアップを図る必要がある。



# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	政策企画課	
副担当課	課	秘書広聴課	
総合計画の 位置づけ	章	1	人がつながるまちづくり
	節	1	ふれあいのまちづくり
	項	6	産学官連携

## 1 目指すまちの姿

**大学，企業，研究機関等と連携したまちづくりが行われ，その成果が地域の問題解決や活性化に役立っています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価
連携事業の推進と展開 1161	教育，福祉，農業，商業，観光などの各分野において大学・研究機関等との連携が行われ，町民がより良いサービスを受けています。	地域連携協定締結件数（累計）	7件	7件	7件	7件	7件	<b>B</b>	連携成果の見える化が課題。 新たに協定を締結した大塚製薬が得意とする熱中症対策などを町の事業に取り入れ、町民の健康増進に繋げる必要がある。
		町と大学等が連携することで，より良い行政サービスが提供されていると感じている町民の割合	-	67.6%	-	100%	100%		
		目標	7件	7件	7件	7件	7件	<b>B</b>	
		実績	7件	7件	8件				
目標	-	-	67.6%	-	100%	100%	<b>B</b>		
実績	-	-	67.6%	-	100%	100%			
目標							<b>B</b>		
実績									
目標							<b>B</b>		
実績									
目標							<b>B</b>		
実績									
目標							<b>B</b>		
実績									

## 3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>B</b> 茨城大学，県立医療大学，東京医科大学茨城医療センター，東京農業大学，霞ヶ浦高等学校，鹿島アントラーズFCに加え、新たに大塚製薬とも包括連携協定を締結し，拡充を図っている。また，それぞれが持つ専門的な知識やノウハウを活かした連携事業を各課において実施できている。

## 4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>II</b> ・今後の総合計画に位置付けた施策を推進するため，町が必要とする分野における連携先を発掘し，専門的な知識やノウハウを活かした連携事業を検討する。 ・二所ノ関部屋との連携協定について検討する。 ・連携によって得られた成果を町民にわかりやすく周知する。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	政策企画課	
副担当課	課	財政課, 総務課, 人事課, 管財課	
総合計画の位置づけ	章	1	人がつながるまちづくり
	節	2	ふれあいのまちづくり
	項	1	行政運営

## 1 目指すまちの姿

町民の視点に立ち、適正、効果的かつ効率的な仕組みによる持続可能な行政運営が行われています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
行政経営の確立 1211	総合計画（後期基本計画）に示したまちづくりの目標達成に向けて、行政資源を効果的・効率的に活用することができる体制が整っています。	施策の目標達成率	目標	80%	85%	90%	95%	100%	C	A評価が増え、D評価が減ったが、C評価が増えたことで実績は維持となった。目標値がイベント等の開催実績等となっている指標は、昨年度に引き続き厳しい評価となっている。後期基本計画の中間年度を終え、目標達成に向けて、より効果的・効率的な事務事業の展開を図る必要がある。時期総合計画の策定に向けた検討を開始する必要がある。
			実績	-	73%	71%	71%			
		行政改革大綱重点目標の達成率	目標	0%	14%	18%	21%	100%	B	
			実績	-	0%	11%	21%			
機能的な組織運営 1212	弾力的で横断的な組織が構築され、社会情勢や町民ニーズに迅速に対応しています。	多様なニーズに対応できる組織だと思っている町民の割合	目標	-	100%	-	100%	100%	B	ワクチン対策室に継続して人員を投入しており、新たな行政課題を解決するための組織の立ち上げに必要な職員数の確保が難しい状況にある。単に職員増員に頼るのではなく、行政事務の効率化、アウトソーシングの活用など、現状を見直すことで、新たな行政需要に対応するマンパワーを確保する必要がある。
			実績	-	-	63%	-			
人材育成・人事制度 1213	それぞれの職員が最大限の能力を発揮し、組織全体の士気高揚が図られ、町民満足度が向上しています。	庁内研修実施回数【1231に再掲】	目標	15回	15回	15回	15回	15回/年	B	R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部研修が延期・中止となり研修参加者も減少したが、R3年度は参加人数も回復傾向にある。今後も研修実施回数等の増加に努めていく。
			実績	15回/年	12回	13回	14回			
適正な法執行・文書管理 1214	地方分権化に対応した法制執務体制及び町民に開かれたまちづくりに資する文書管理体制が構築されています。	例規審査件数	目標	200件	200件	200件	200件	200件	A	地方分権化に対応するには、法制執務体制の強化が必要である。限られた総務課担当職員だけでなく各課職員の法制執務の習熟度の向上を図る必要がある。
			実績	212件	252件	197件	441件			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗が遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	III

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	財政課	
副担当課	課	管財課, 収納課, 政策企画課, 税務課, 農業振興課, 商工観光課	
総合計画の 位置づけ	章	1	人がつながるまちづくり
	節	2	ふれあいのまちづくり
	項	2	財政の健全化

## 1 目指すまちの姿

安定した財政基盤を確立し、健全かつ持続可能な財政運営が行われています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
効果的・効率的な財政運営 1221	行政改革の取組みが進み、安定した財政基盤が確立しています。	経常収支比率	目標	91.9%	91.5%	91.1%	90.7%	90.3%	A	令和3年度は比率は改善したが、コロナ禍による一時的な比率の改善の要素があるため、今後も目標達成に向けた取り組みを引き続き推進する必要がある。	
			実績	92.3%	94.3%	89.4%	算定中				
公有財産の適正な管理・有効活用 1222	町の財産が適切に管理され、有効に活用されています。	個別施設計画の策定件数	目標	15件	15件	15件	15件	15件	B	個別施設計画を目標値とおりに達成した。今後は、5年ごとの見直しを行い、保全に関わる修繕費用の平準化を行う。	
			実績	7件	15件	15件	15件				
民間活力の積極的活用 1223	官と民の役割分担が適切に行われ、効果的・効率的に行政運営が行われています。	民間活用運用件数	目標	0件	0件	0件	0件	1件	D	指定管理者制度の導入を予定していた道の駅整備事業は中止となった。公立保育所の民間活力導入について引き続き検討していく。	
			実績	0件	0件	0件	0件				
税収の確保 1224	自主納付が促進され、収納率が向上しています。	町税の収納率	目標	97.0%	97.2%	97.5%	97.7%	98.0%	B	基幹財源である税収の安定的な確保に向け、広報紙等により継続的に納税意識の高揚を啓発するとともに、滞納者に対し効果的、効率的に対応することで収納率の向上を図る必要がある。	
			実績	96.9%	97.0%	97.2%	97.5%				
自主財源の確保 1225	ふるさと納税制度が充実し、寄附金額が増加しています。	返礼品の数	目標	50件	80件	100件	120件	30件	A	返礼品数の大幅な拡大により、寄附の増加に繋がっている。出品者募集の継続と返礼品の充実を図るとともに、継続的な特産品開発の支援が必要である。	
			実績	1件	71件	102件	172件				
		ふるさと納税の寄附件数	目標	500件	800件	1,000件	1,200件	1,400件/年	A	返礼品数の増加及びふるさと納税ポータルサイト数を増やして積極的に情報を発信し、目標件数を大きく上回ることができた。今後は、リピーターの確保や新規寄附者の開拓として、シティープロモーションとの連携が重要である。	
			実績	15件/年	504件	2,525件	5,528件				
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	町民課	
副担当課	課	人事課	
総合計画の 位置づけ	章	1	人がつながるまちづくり
	節	2	ふれあいのまちづくり
	項	3	窓口サービスの向上

## 1 目指すまちの姿

**町民の視点に立った効率的な行政手続きや質の高い窓口サービスを提供し、町民満足度が高まっています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
窓口・行政サービスの向上 1231	窓口サービスや各種事務手続き等の利便性が向上し、町民が快適に利用することができます。	総合窓口サービスの満足度	目標	75%	76%	77%	78%	80%	B	総合窓口利用アンケート（満足度）の調査結果を元に窓口サービス改善を図り、より窓口サービスの満足度を上げていく。 職員は人事課が行う職員研修を通して接遇向上を図っていく。 総合窓口の「交付呼び出し番号表示システム」は老朽化が進んでいるので更新が必要である。	
			実績	73%	73%	74%	78%				
		庁内研修実施回数【1213の再掲】	目標	15回	15回	15回	15回	15回/年	B		
			実績	15回/年	12回	12回	14回				
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

## 3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>B</b> 総合窓口のワンストップサービスや証明書交付一本化は既に定着しており、利用者には概ね満足を得られている。

## 4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>II</b> 休日開庁の効率化、人員配置の適正化等、業務的、組織的にかなり改善されてきている。しかしながら、町民課業務は、戸籍事務、マイナンバーカード等、町民サービスや行政運営にとって基幹的業務であるので、体制の健全化をさらに進める必要がある。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	秘書広聴課	
副担当課	課	総務課, 議会事務局	
総合計画の 位置づけ	章	1	人がつながるまちづくり
	節	2	ふれあいのまちづくり
	項	4	広報・広聴活動の充実

## 1 目指すまちの姿

きめ細やかな情報提供により、**町政への理解が深まるとともに、町民意見を聴く様々な機会と場が設置され、意見が町政に活かされています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
広報活動の充実 1241	町民が、様々な情報媒体により町に関する情報を手軽に入手できます。	ホームページアクセス件数	目標	1,070,000件	1,070,000件	1,070,000件	1,070,000件	1,070,000件	A	ホームページのリニューアルを実施した。トップページのレイアウトや分類を見直すとともに、町の魅力発信ページや二所ノ関部屋紹介ページを新たに設けるなどのリニューアルを行いました。年間アクセス数は2,160,081件（前年比：631,349件の増）と大幅な増加となった。
			実績	1,118,244件/年	1,195,738件	1,528,732件	2,160,081件			
広聴活動の充実 1242	町民が町政に対する意見を述べる機会が充実しています。	広聴会における延べ参加人数※1	目標	1,900人	2,000人	2,100人	2,200人	2,300人	C	「町長と語る会」は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視するとともに対策を講じ、数多くの行政区で開催できるよう計画的に実施していく。
			実績	1,660人	1,854人	1,894人	1,916人			
情報発信・町のPRの強化 1243	町内外の人が、様々な場所で必要な情報を享受でき、様々な目的で活用できるようになっています。	ソーシャルメディア等による情報伝達手段数	目標	5件	5件	5件	5件	5件	B	SNSを活用した情報伝達を積極的に行う。あみメールの登録者数は堅調に増加しているが、20,000件を最終目標とした方策をさらに展開する。公式FB「町長の活動報告」の町HPへの掲載を引き続き行っていく。
			実績	4件	4件	5件	5件			
統計情報の充実 1244	町の状況を把握するための統計情報が一層充実し、町民や法人に活用されています。	ホームページによる情報提供件数	目標	25件	25件	25件	25件	30件	B	統計情報提供の充実と利活用の促進。
			実績	25件	25件	25件	27件			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	総務課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	1	人がつながるまちづくり
	節	2	ふれあいのまちづくり
	項	5	情報公開・個人情報保護

## 1 目指すまちの姿

個人の権利の保護を前提としつつ、町民の知る権利が尊重され、町の行政情報が町民と共有されています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
適正な情報公開制度の運用 1251	町民が行政情報を適正に入手できるようになっています。	不服申し立て件数	目標	0件	0件	0件	0件	0件	0件	A	情報公開請求には条例等に基づき適正に対応しているものの、現在、永年保存している公文書の作成、管理が不十分なものと考えられる。今後は、公文書の適正管理強化が必要。また、令和4年度は、個人情報保護法改正への対応が必要。
			実績	1件	0件	0件	0件				
個人情報保護条例の見直しと適正な制度の運用 1252	個人情報保護制度に則り、町民の個人情報適正に管理されています。	訂正の請求件数	目標	0件	0件	0件	0件	0件	A	個人情報保護開示請求には条例等に基づき適正に対応している。引き続き個人情報の適正な収集、管理を行い、個人情報の保護に努めるとともに、令和5年4月1日施行予定の個人情報保護法改正に伴う、個人情報保護条例等の改正及び関連業務の対応を進めなければならない。	
			実績	0件	0件	0件	0件				
		不服申し立て件数	目標	0件	0件	0件	0件	0件	A		
			実績	1件	0件	0件	0件				
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	A

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	総務課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	1	人がつながるまちづくり
	節	2	ふれあいのまちづくり
	項	6	情報化の推進

## 1 目指すまちの姿

**他自治体や民間等と連携して地域及び行政の情報化を進めることにより、  
町民サービスの向上と行政事務の効率化が図られています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
<b>地域情報化の 推進 1261</b>	多くの町民が希望する行政サービスを享受できるよう安心・安全なシステムや基盤が整備されています。	電子申請届出に対応するサービス数	目標	24件	28件	32件	36件	40件	<b>A</b>	国が進める行政手続きのオンライン化の他、町独自の行政手続き等のオンライン化推進に向けて、組織横断的に政策や課題を共有できる体制づくりが必要。 他自治体を参考に、町民等に有益な地図情報掲載のため、情報保有所管課との協議、調整が必要。	
			実績	24件	24件	28件	49件				
		いばらきデジタルマップの掲載地図数	目標	3件	5件	5件	5件	5件	<b>B</b>		
			実績	3件	3件	3件	5件				
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

## 3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>B</b> 電子申請届出に対応するサービス数は目標値を上回り、いばらきデジタルマップの掲載地図数についても目標値を達成できたものの、新たに国が策定した「デジタル・ガバメント実行計画」及び「自治体DX計画」で示された自治体DX推進に関連し、目標値の見直しが必要。

## 4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>III</b> 「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」に基づき、国を挙げてのDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進が示された。令和4年度中に策定する「DX推進計画」に基づき、デジタル技術やAI等を活用することにより業務の効率化を図るとともに、そこで生み出された人的資源を他の業務に投入することにより、行政サービスの更なる向上と町民の利便性向上に繋げていく必要がある。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	政策企画課	
副担当課	課	人事課, 生活環境課, 廃棄物対策課, 防災危機管理課, 商工観光課	
総合計画の 位置づけ	章	1	人がつながるまちづくり
	節	2	ふれあいのまちづくり
	項	7	広域行政の推進

## 1 目指すまちの姿

他自治体と連携し、より効率的で質の高い行政サービスを提供しています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
				H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
広域事務事業 の強化 1271	周辺自治体と協力して、効率的な行政サービスの提供を行っています。	広域事務処理件数	目標	/	7件	7件	7件	7件	7件	B	し尿処理、斎場及び消防に関する広域事務については、構成市町村と連携しながら、行政サービスの充実に取り組む。  霞クリーンセンターについては、広域化に向けて施設運営状況や処理経費の現状をもとに調査・検討を行う。
			実績	7件	7件	7件	7件				
		広域的な事務事業化に関する会議体の設置	目標	/	1件	1件	1件	1件	1件	B	
			実績	2件	1件	1件	1件				
他の自治体との 相互協力 1272	他自治体と積極的に情報交換し、様々な分野で効果的な取り組みが行われています。	県外自治体との協定締結数【4213に再掲】	目標	/	2件	2件	2件	3件	4件	D	アウトレットをきっかけに、阿見町、酒々井町、御殿場市の3市町で災害協定を締結したが、今後は、新たな視点で対象自治体を候補に挙げて協議を進めていく。
			実績	2件	2件	2件	2件				
			目標	/							
			実績								
	目標	/									
	実績										
	目標	/									
	実績										

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II



## 第2章 人を育むまちづくり

### 第1節 健康と元気を支えるまちづくり

- 1 町民の健康づくり
- 2 国民健康保険制度の適正な運営
- 3 後期高齢者医療制度の適正な運営
- 4 介護保険制度の適正な運営
- 5 国民年金制度の適正な運営

### 第2節 みんなで支え合うまちづくり

- 1 地域福祉の推進
- 2 高齢者福祉の充実
- 3 障害者福祉の充実
- 4 子ども・子育て支援の充実
- 5 医療福祉の充実

### 第3節 豊かな人づくり

- 1 幼児教育の充実
- 2 学校教育の充実
- 3 児童生徒の健康管理と安全対策

### 第4節 いつでもどこでもだれでも学べるまちづくり

- 1 生涯にわたって学べる環境づくり
- 2 社会全体で取り組む教育の推進
- 3 スポーツの振興
- 4 文化芸術活動の推進と文化財保護

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	健康づくり課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	1	健康と元気を支えるまちづくり
	項	1	町民の健康づくり

## 1 目指すまちの姿

高齢になっても、いきいきと暮らせるように、すべての町民が主体的に健康づくりに取り組み、町全体の健康づくりへの気運が高まっています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
健康づくりの推進 2111	町民が自分の健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組んでいます。	健康教育実施回数	目標	120回	130回	140回	150回	155回/年	C	生活習慣病予防のための「健康あみ5つのあいことば」を軸に、幅広い年齢層の対象者に対し、それぞれの健康課題に沿った健康教育を行う。
			実績	116回/年	119回	22回	11回			
健康診査・健康相談の充実と活用 2112	町民ががんや生活習慣病の予防のために健康診査を受け、自らの健康管理を行っています。	大腸がん検診精密検査受診率	目標	65%	67%	70%	72%	75%	A	健康診査や精密検査の重要性に関する情報提供を行い、受診勧奨するとともに、受診環境を整える。 また、健診後は、健診結果を生かして健康的な生活習慣に取り組めるように助言・指導を行う。
			実績	59%	68.3%	70.1%	71.3%			
		大腸がん検診受診者延べ人数	目標	2,800人	2,800人	2,800人	2,800人	2,800人/年	B	
			実績	2,711人/年	2,826人	2,261人	2399人			
		健診事後相談・事後指導実施延べ人数	目標	120人	140人	160人	180人	200人/年	C	
			実績	109人/年	113人	66人	72人			
母子保健事業の充実 2113	母親などが育児に関する不安を解消し、母子共に健康な状態で生活しています。	生後4ヶ月までの乳児世帯への訪問率	目標	98%	98%	98%	98%	98%	B	妊娠期からの切れ目のない支援を目指し、妊娠届け時に母子手帳を交付しながら面談を実施する。 出産後、全数を訪問することを目指し、保護者の不安を軽減する取組を実施する。
			実績	98.7%	99.0%	97.9%	95.0%			
		妊娠届時の面談率	目標	100%	100%	100%	100%	100%	A	
			実績	20.4%	100%	100%	100%			
感染症の予防 2114	感染症の発生及びまん延がなく、町民が健康に暮らしています。	MR（麻しん風しん混合）2期接種率	目標	95%	95%	95%	95%	95%	B	広報やホームページ、個別支援の場で接種勧奨を実施。感染のまん延と重症化を防ぐため継続した取組を行う必要がある。
			実績	95.2%	95.9%	100.7%	94.9%			
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	国保年金課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	1	健康と元気を支えるまちづくり
	項	2	国民健康保険制度の適正な運営

## 1 目指すまちの姿

国民健康保険加入者が、自らの健康に気を配り、必要な時に安心して医療を受けることができるまちになっています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
総合的な健康管理の推進 2121	町民が自己健康管理を行い、生活習慣病予防及び早期発見に町全体で取り組んでいます。	特定健康診査の受診率	目標	38%	39%	40%	41%	42%	C	特定健診及び特定保健指導の受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて低迷した。目標達成のためには、町民の健康意識の高揚が必要である。特定保健指導は、特定健診受診後に指導を開始する。最初の指導は受けるが2回目から指導を受けない受信者が多い。今後、効率的な指導方法の検討が必要である。
			実績	36.2%	35.1%	23.0%	28.4%			
		特定保健指導の実施率	目標	20%	25%	30%	35%	40%		
			実績	15%	21.8%	8.7%	6.9%			
国民健康保険の健全運営 2122	国民健康保険制度が理解され、公平公正に課税され、サービスが安定して提供されています。	収納率	目標	92.5%	92.5%	92.5%	93.0%	93.0%以上	B	国民健康保険制度を周知し、制度の重要性・必要性を理解してもらい、納税意識の向上を図る必要がある。
			実績	92.5%	92.3%	92.4%	92.7%			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	国保年金課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	1	健康と元気を支えるまちづくり
	項	3	後期高齢者医療制度の適正な運営

## 1 目指すまちの姿

**高齢者が自らの健康管理に積極的に取り組み、必要な時に安心して医療を受けることができるまちになっています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
高齢者保健事業の 推進 2131	高齢者が健康について自己管理を行い、健康寿命が長いまちになっています。	高齢者健診の受診率	目標	19%	19%	20%	21%	22.0%	B	新型コロナウイルス感染症により、定員を減らした影響を受けているが、健診を通して高齢者が自ら健康管理をすることはとても重要であり、今後も受診率の向上を目指していく。
			実績	18.7%	19.5%	12.7%	19.1%			
後期高齢者医療 制度の安定した 運営 2132	高齢者が安心して医療を受けることができるまちになっています。	制度の周知の種類	目標	5件	5件	5件	5件	5件以上	A	年々被保険者が増加し、滞納者も増加。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあって思うように滞納整理実施が出来なかったが、収納率は前年度よりも改善している。
			実績	6件	6件	6件	6件			
		後期高齢者医療 保険料の収納率	目標	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%以上	B	
			実績	99.5%	99.19%	99.28%	99.48%			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

	区 分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評 価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>B</b> 健診事業については、多くの高齢者が自らの健康管理に気を留めて健診受診を行っており、新型コロナウイルス感染症による定員削減の影響もあつたが、概ね進捗している。被保険者の増加と共に増える滞納者、滞納額を今後いかに増加させないかが課題であるが、概ね目標を達成している。

## 4 今後の方向性

	区 分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必 要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>I</b> 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、概ね目標を達成している。このまま受診率及び収納率の向上に取り組んでいく。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	高齢福祉課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	1	健康と元気を支えるまちづくり
	項	4	介護保険制度の適正な運営

## 1 目指すまちの姿

介護を必要とする人に適切な介護サービスが提供され、高齢者が住み慣れた地域で安心して日常生活を送っています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
介護保険サービスの 充実 2141	要支援、要介護認定を受けた高齢者が、必要な時に適切なサービスを受け、安心して日常生活を送っています。	介護保険サービス 利用率	目標	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	B	引き続き町民にわかりやすい広報等を実施し、利用者のニーズに応じた様々なサービスの充実を図る。	
			実績	85.6%	85.2%	87.8%	90.4				
介護予防事業の 推進 2142	高齢者が自らの意識や周りの支援により、介護の必要な状態になることを防ぎ、活動的な生活を送っています。	要支援・要介護 認定率	目標	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	B	要介護状態になることを防ぐため、その前段階として訪問、通所等のサービスの充実を図っていく。	
			実績	13.9%	14.3%	14.0%	13.9				
介護保険の健全 な運営 2143	介護サービスを必要としている人が、速やかにサービスの提供や介護給付を受けられるようになっています。	保険料の収納率	目標	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	B	介護保険の健全な運営のため、適切な保険料の設定を行い、収納対策を強化しながら口座振替の推進、キャッシュレス決済及び滞納整理の強化を図っていく。	
			実績	96.4%	96.8%	96.5%	97.8				
		30日以内の認定 決定率	目標	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	C		
			実績	42.9%	47.8%	63.0%	46.7				
安心して暮らせる 地域づくり 2144	高齢者の誰もが、住み慣れた地域で様々な人に見守られながら健康で安心した生活を送っています。	認知症サポーター の養成者数	目標	600人	650人	700人	750人	800人	C	新型コロナウイルス感染症対策の影響で、認知症の人やその家族の介護負担の軽減を図るための事業が計画どおりに進められていない。対策を講じるなどして事業を行い、地域における認知症への対応力と理解を深め、適切な支援につなげる。	
			実績	568人	483人	113人	69人				
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評 価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必 要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	国保年金課		
副担当課	課			
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり	
	節	1	健康と元気を支えるまちづくり	
	項	5	国民年金制度の適正な運営	

## 1 目指すまちの姿

**町民が国民年金の制度や重要性について正しく理解し、受給権を確保することにより、  
老後の安定した生活基盤を築いています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
国民年金の加入促進と受給権の確保 2151	町民が、国民年金について制度や加入の重要性を正しく理解し、老後の安定した生活に向けて、受給権の確保を進めています。	制度の周知の種類	目標	8件	8件	8件	8件	5件以上	A	国民年金は、20歳以上60歳未満のすべての国民が加入となるが、学生納付特例や免除制度などを周知することで今後も受給権の確保に努めていく必要がある。
			実績	8件	8件	8件				
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>A</b> 老後の生活安定や万一の場合の障害年金、遺族年金の制度を周知することで、学生納付特例や保険料免除申請の来庁者が増えており、年金制度の必要性の浸透が図られている。

## 4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>I</b> 現状のまま継続して進める。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	社会福祉課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	2	みんなで支え合うまちづくり
	項	1	地域福祉の推進

## 1 目指すまちの姿

地域の中で住民同士が共に支え合い・助け合い、いきいきと安全・安心に暮らしています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
地域で支え合い・ 助け合う仕組みづ くりの推進 2211	地域の福祉ネットワークが構築さ れ、お互いに連携して支え合 い、助け合うまちになっています。	地域福祉の推進 のための地区座談 会の実施数	目標	3区	3区	3区	3区	16区	D	地区座談会を新型コロナウイルス感染症拡大防 止により開催できなかった。
			実績	0区	0区	0区	0区			
活動の充実と社会 福祉協議会との連 携強化 2212	住民の地域福祉活動に対して適切 な助言、情報提供が行える人材を 育成するとともに、地域福祉活動の 中核的機関となる社会福祉協議会 の活動が活性化しています。	民生委員児童委 員研修の延べ参 加者数	目標	1,500 人	1,500 人	1,500 人	1,500 人	1,550 人/年	A	地域での支援活動をスムーズに行えるよう、 研修等を通して民生委員児童委員の資質 の向上を図る。
			実績	1,481 人/年	1,472 人	871人	1,126 人			
避難行動要支援 者対策の推進 2213	要支援者一人ひとりについて、災害 時に迅速に安否確認を行い、誰がど の避難所に避難するかを定め、必要 な支援が実施できる体制が整ってい ます。	避難行動要支援 者登録制度登録 者数	目標	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	A	台風災害時の支援活動に活用できた。 要支援者一人ひとりについて必要な支援が 実施できるよう体制整備を推進する。
			実績	1,236 人	1,208 人	1,191 人	1,208 人			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評 価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必 要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	高齢福祉課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	2	みんなで支え合うまちづくり
	項	2	高齢者福祉の充実

## 1 目指すまちな姿

高齢者が住み慣れた地域で様々な人に見守られながら、安心していきいきと生活できるまちになっています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
高齢者の生活支援の推進 2221	高齢者が、生活に必要な適切なサービスや支援を受けることができ、介護者等の負担が軽減されています。	緊急通報体制等整備事業の利用者数	目標	/	160人	170人	180人	190人	200人	B	高齢者の緊急時の連絡方法として不安の解消に繋がるため、引き続き実施する。行方不明高齢者が発生した場合は、迅速な対応が必要となるため関係機関と連絡を密にしながらか対応する。
			実績	146人	149人	151人	145人				
		徘徊高齢者家族支援サービス事業の利用者数	目標	/	10人	10人	10人	10人	10人	B	
			実績	11人	11人	18人	20人				
生きがいつくりの推進 2222	高齢者が地域社会の一員として活動できる場が充実し、生きがいを感じながら活躍しています。	シルバークラブ結成数	目標	/	38クラブ	38クラブ	39クラブ	40クラブ	40クラブ	B	シルバークラブ及び会員数の増加を図っていく。福祉センターの老朽化が進んでいるため、計画的な修繕等が必要である。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じながら運営していく。
			実績	38クラブ	37クラブ	37クラブ	35クラブ				
		福祉センターの年間延べ利用者数	目標	/	58,000人	58,000人	58,000人	58,000人	58,000人/年	B	
			実績	58,829人/年	50,642人	15,706人	16,813人				
			目標	/							
			実績								
			目標	/							
			実績								
			目標	/							
			実績								

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	I



# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	社会福祉課		
副担当課	課			
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり	
	節	2	みんなで支え合うまちづくり	
	項	3	障害者福祉の充実	

## 1 目指すまちの姿

**障害者が住み慣れた地域や家庭で、安心して生きがいある生活を営めるまちになっています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
障害者福祉サービスの充実 2231	障害者が適切な支援やサービスを受け、安心して暮らしています。	相談支援事業利用者数	目標	2,700人	2,750人	2,800人	2,850人	2,900人/年	A	福祉サービスを利用することで障害者が地域で自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、基本相談や計画相談の利用を推進する。	
			実績	3,303人/年	4,629人	5,659人	6,386人				
		相談事業者数	目標	5施設	5施設	5施設	5施設	5施設	A		地域の社会資源が十分とは言えないなかで、障害者のニーズに寄り添ったサービスの提案ができるよう、相談支援事業者間の連携を推進する。
			実績	4施設	4施設	4施設	5施設				
障害者の生活の安定と自立支援 2232	障害者が地域の中で安定し、自立した社会生活を送っています。	障害福祉サービス受給者数	目標	359人	391人	401人	403人	405人	A	希望に沿ったサービスの提供により障害者が地域で自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、サービスの利用を促進する。	
			実績	338人	445人	461人	477人				
		就労訓練支援サービス支給決定数	目標	137人	147人	160人	175人	190人/月	A		就労に向けて働く意識は向上しているが、障害の種類や特性によっては就労意欲の継続が難しく、就労定着が難しい。
			実績	180人/月	181人	211人	211人				
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

## 3 施策の進捗状況

	区分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	A	相談事業者の目標数を達成。障害者のニーズに応じたサービス提供を行うことができた。

## 4 今後の方向性

	区分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	I	目標を超える実績値を上げることができた。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	子ども家庭課	
副担当課	課	児童館・保育所、地域子育て支援センター	
総合計画の位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	2	みんなで支え合うまちづくり
	項	4	子ども・子育て支援の充実

## 1 目指すまちな姿

子育てに関する支援体制や保育環境が充実し、地域の中で安心して子育てができます。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況			
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
保育施設の充実 2241	保育施設等が充実し、皆が希望する施設で保育を受けています。	保育施設等入所定員	目標	1,164人	1,164人	1,164人	1,211人	1,244人	A	民間保育施設の誘致を進めるとともに、既存施設の増築による定員増を図った。R4.4.1時点の待機児童を0人とした。今後待機児童が解消された状態を維持していくこと及び障害のある子どもの受け入れが課題。待機児童発生の一因である保育士不足に対処するため、私立保育施設の保育士等に対する助成金の交付などの処遇改善を図り、保育士の確保及び他市町村への流	
			実績	1,146人	1,164人	1,174人	1,156人				
		待機児童数	目標	0人	0人	0人	0人	0人	B		
			実績	41人	31人	24人	1人				
保育サービスの充実 2242	多様な保育ニーズに対応したサービスが整っています。	特別保育等の実施事業数	目標	33事業	34事業	35事業	36事業	37事業	A	特別保育を実施している事業者数は増加しており、病児保育の施設整備にも取り組んだ。なお一層の拡充を目指していく。	
			実績	32事業	33事業	33事業	35事業				
子育て支援体制の充実 2243	育児中の親が、子育てについて必要な情報を得ることができ、悩みを相談できるなど、支援を受けやすい環境が整っています。	すくすく広場の参加者数	目標	5,000人	5,500人	5,500人	5,500人	5,500人/年	B	広場の利用促進を図るため、丁寧な周知活動と安心安全な場の提供を行う。また、利用者のニーズに合わせた情報収集や提供ができるようにする。	
			実績	4,946人/年	4,339人	716人	886人				
		児童館サークル参加人数(親子)	目標	6,100人	6,100人	6,100人	6,100人	6,100人/年	B		児童館の、利用方法・時間として育児サークルの内容を、HPや阿見メール・児童館新聞等で紹介していく。
			実績	5,097人/年	4,676人	1,350人	2,188人				
放課後子どもプランの充実 2244	学校・家庭・地域が協力し、すべての児童が放課後に安全で安心して活動できる居場所を確保しています。	放課後子ども教室の参加人数	目標	500人	500人	500人	500人	510人/年	A	地域社会の中で、放課後に子どもの安全で健やかな居場所づくりを推進するために、文部科学省の補助事業である「放課後子ども教室」事業と厚生労働省の補助事業である「放課後児童クラブ」事業を連携させ、小学生を対象とした放課後対策事業を実施する。	
			実績	439人/年	500人	389人	587人				
		放課後児童クラブ入会児童数	目標	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人/年	B		
			実績	922人/年	989人	958人	973人				
要保護児童対策の充実 2245	すべての児童が学校や地域の中で、適切な見守りを受けています。	要保護児童相談員訪問件数	目標	180件	180件	180件	180件	180件/年	B	新型コロナウイルス感染症により訪問件数が減少したが、訪問件数の減が必ずしも目標達成ではない。要保護児童の減少を図る対策が必要である。	
			実績	203件/年	377件	312件	251件				

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	B	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	II	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	国保年金課		
副担当課	課			
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり	
	節	2	みんなで支え合うまちづくり	
	項	5	医療福祉の充実	

## 1 目指すまちの姿

**町民が必要なときにいつでも安心して医療を受けることができるまちになっています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
医療福祉行政の充実 2251	医療福祉制度が町民に周知され、町内で安心して医療を受けられるようになっています。	医療福祉制度の周知の種類	目標	3件	3件	3件	4件	4件	A	医療機関や関係各課との連携を図ることで、今後も医療福祉制度の周知をすすめる。	
			実績	3件	3件	3件					
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

## 3 施策の進捗状況

	区分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	A	各種媒体により計画通りに広く町民に周知を行い、医療福祉制度の浸透が図られている。

## 4 今後の方向性

	区分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	I	制度も浸透しており、現状のまま継続し実行していく。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	学校教育課	
副担当課	課	指導室	
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	3	豊かな人づくり
	項	1	幼児教育の充実

## 1 目指すまちの姿

**幼児一人ひとりが家庭や地域の中で適切な教育を受け、健やかに成長しています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
幼児教育の推進 2311	幼児が家庭や地域の中で一人ひとりの個性に応じた適切な教育を受け、健やかに成長しています。	幼稚園就園奨励費補助金交付人数	目標	170人	-	-	-	165人	C	幼児教育施設と学校との研修会は、コロナ禍により、参集型での実施は難しい状況であった。個別に施設と学校で都合を合わせ、情報交換等を行うにとどまった。
			実績	144人	114人	終了	終了			
		幼児期の教育と小学校教育の連携・接続事業の実施回数	目標	3回	3回	3回	3回	3回	C	
			実績	3回	3回	1回	1回			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	C 私立幼稚園就園奨励費補助事業の廃止により、幼児教育推進方法の検討が必要。コロナ禍により保幼小の交流を中止したため、目標を達成できなかった。

## 4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II 今後、幼児教育推進の取り組み方法が課題となるが、連携については新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施について検討する。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	指導室	
副担当課	課	学校教育課, 学校給食センター, 教育相談センター	
総合計画の位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	3	豊かな人づくり
	項	2	学校教育の充実

## 1 目指すまちの姿

**児童生徒が、自ら学び考え、生きる力を養い、心も体も健康でいきいきと教育を受けています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況			
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
豊かな心と確かな学力の定着を目指した教育の推進 2321	児童生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得し、自ら考え課題を解決する力が備わるとともに、生命を大切にす豊かな心を持ち、将来に向けて健やかに成長しています。	児童生徒の授業理解度（国語・算数・数学）	目標	78.6%	80%	80%	80%	80%	A	児童生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得し、自ら考え課題を解決する力が育っている。生命を大切にす豊かな心を持ち、知・徳・体のバランスの取れた児童生徒の育成を目指していく。	
		実績	76% (H29)	78.6%	—	81%					
		人が困っている時は進んで助けていると答えた児童生徒の割合	目標	86.9%	90%	90%	90%	90%			A
		実績	78% (H29)	86.9%	—	92.7%					
		人の役に立つ人間になりたいと答えた児童生徒の割合	目標	93.5%	95%	95%	95%	95%			A
		実績	93% (H29)	93.5%	—	95.4%					
学力を支える教師力の向上 2322	阿見町に愛着をもった教員が、創意工夫をして教育に取り組むことにより、子どもたちから信頼され、教員の資質向上が図られています。	教職員研修会（町単独分）	目標	56回	60回	60回	60回	60回/年	B	オンライン研修を含め、効果的な研修会の実施に向けて、各種研修会の持ち方を追究していく必要がある。	
実績	55回/年	56回	53回	54							
自立と社会参加を目指す特別支援教育の推進 2323	児童生徒一人ひとりが個性に応じた適切な教育を受けています。	特別支援教育支援員の配置	目標	32人	36人	36人	36人	30人	B	支援が必要な児童生徒、家庭からは強い要望がある。人数とともに勤務時間の拡充や、支援の質の向上が求められる。	
実績	25人	32人	32人	33人							
学習環境の充実 2324	児童生徒が、不安や悩みを気軽に相談できる体制が整い、安心して学習できる環境が整っています。	不登校児童生徒の割合	目標	2.0%	1.5%以下	1.5%以下	1.5%以下	1.5%以下	C	中学校では、不登校対策指導員を導入するなど、児童生徒の学びの場を広げている。解消に向けて、好事例を共有していく必要がある。コロナを理由とした不登校が増加している。	
実績	2.3%以下	2.0%	2.0%	3.0%							
地域に開かれた学校づくりの推進 2325	小中学校が地域にとって身近な学校として親しまれるとともに、児童生徒は地域の中で様々な人と交流しながら豊かな体験をして成長しています。	地域に学校を公開している日数	目標	12日	15日	15日	15日	15日以上	C	※感染症予防のため、学校への出入りを制限した。分散での授業参観のみ。地域に開かれた学校づくりの一環として、学校での取り組みを理解してもらう機会の充実を図る。	
		実績	10日 (H29)	12日	1日	3日					
		学校評議員会の実施回数	目標	3回	3回	3回	3回	3回以上/年	C	※コロナ禍で中止が多かった。保護者や地域住民の意向を把握し、地域社会に開かれた学校づくりを推進できるよう、評議員会の内容の充実を図る。	
		実績	3回/年	3回	0回	1.5回					
保護者負担の軽減 2326	児童生徒が、家庭の経済状況等にかかわらず、安心して学習できる支援体制が整っています。	ランドセルの無料配布率	目標	100%	100%	100%	100%	100%	B	児童・保護者の要望を事業に反映していく必要がある。	
実績	無し	97.4%	97.3%	98.2%							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗が遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>C</b>

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>II</b>

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	学校教育課	
副担当課	課	指導室, 学校給食センター	
総合計画の位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	3	豊かな人づくり
	項	3	児童生徒の健康管理と安全対策

## 1 目指すまちな姿

安全・安心, 快適で質の高い教育環境が整い, 児童生徒が健やかに成長しています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
健やかな体の育成 2331	児童生徒が, 規則正しい食生活やスポーツを通じて, 健やかに成長し, 生きる力が育まれています。	学校給食で茨城県産食材の占める割合【3316に再掲】	目標	92%以上	92%以上	92%以上	92%以上	92%以上	A	学校給食の県産食材割合は, 目標値を上回る実績となった。町内・県内産の食材を活用するよう, 献立を工夫しながら今後も継続していく。  小・中学校スポーツテストの上位判定の児童生徒の割合が減少しており, 小・中学校共に目標値を下回ってしまった。
		実績	92%	93.6%	96.2%	98.3%				
		小学校スポーツテスト(A+B)の割合	目標	46.0%	46.0%	47.0%	47.0%	53.0%以上	C	
		実績	45.48%	44.44%	—	36.57%				
		中学校スポーツテスト(A+B)の割合	目標	58.0%	58.0%	59.0%	59.0%	65.0%以上	C	
		実績	62.98%	56.82%	—	56.63%				
安全・安心な教育環境の整備 2332	教育施設での危機管理体制の確立や施設の整備・改修が進み, 安全・安心な教育環境が整備されています。	緊急情報システム(メール配信システム)の登録率	目標	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	A	緊急メール登録については, 毎年児童生徒の入替があるものの, 高い登録率となっている。  R01年度で小中学校冷暖房等設置率(普通教室)は100%に達している。今後は, 長寿命化計画に基づき学校施設の改修を実施していく。
		実績	95%(H29)	99.0%	99.2%	99.6%				
		小中学校冷暖房等設置率(普通教室)	目標	80%	100%	100%	100%	100%	A	
		実績	70%	100%	100%	100%				
質の高い教育環境の整備 2333	児童生徒が, 居住地域等にかかわらず, 適正に学べる望ましい教育環境が整っています。	大規模改修工事実施校数(トイレ改修)	目標	6校	7校	7校	7校	7校	B	R02年度で目標としていた7校校舎のトイレ改修が終了した。今後は, 長寿命化計画に基づき学校施設の改修を実施していく。今後も学校施設・設備の老朽化による故障・不具合の発生が見込まれる。  長寿命化計画に基づき, 学校施設の改修を進めていく。計画作成後も学校施設の状況を確認しながら長寿命化計画を見直す必要がある。
		実績	5校	6校	7校	7校				
		学校施設長寿命化計画策定	目標	策定	策定済	策定済	策定済	策定済	B	
		実績	未策定	策定	策定済	策定済				
		目標								
		実績								

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	I

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	生涯学習課	
副担当課	課	予科練平和記念館, 図書館, 中央公民館	
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	4	いつでもどこでもだれでも学べるまちづくり
	項	1	生涯にわたって学べる環境づくり

## 1 目指すまちの姿

**町民ニーズや社会情勢の変化などに対応し、  
町民が夢や生きがいを持って活躍できる生涯学習の推進体制が構築されています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
生涯学習の充実 と社会参加の促進 2411	多くの町民が生涯学習に参加し、学習成果を活かして活躍しています。	生涯学習フェスティバルの参加者数	目標	15,500人	16,100人	16,800人	17,400人	18,000人	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした事業が多くあった。
			実績	14,974人	13,723人	4,566人	2,606人			
		人材バンク登録者数	目標	109人	113人	117人	121人	125人	C	
			実績	105人	108人	103人	94人			
公民館・ふれあいセンターの充実 2412	町民ニーズに対応した魅力ある学習機会や活動の場が十分に提供されています。	公民館・ふれあいセンターの定期講座申込率	目標	96%	97%	98%	99%	100%	C	新型コロナウイルス感染症の感染予防に留意し、町民が参加しやすいよう、5回や8回講座の開催やナイトスクール（夜間講座）にも取り組んでいる。今後も、魅力ある講座の開設に取り組むと共に、館の制限解除似合わせて、募集人数や回
			実績	96%	94%	116%	89%			
ふれあい地区館活動の充実 2413	ふれあい地区館では、地域の特色に応じた魅力的な出前講座やイベントが開催され、多くの地域住民が参加しています。	ふれあい地区館活動の実施行政区【1122の再掲】	目標	66行政区	66行政区	66行政区	66行政区	66行政区	D	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ふれあいスポーツ交流会、地区館まつり、出前講座など多くの事業が中止となった。今後は感染状況等に注視し、開催する方向で事業の準備を進める。
			実績	58行政区	51行政区	3行政区	16行政区			
図書館の充実 2414	図書館サービスが充実し、多くの人が図書館を利用しています。	図書館資料の年間貸出点数	目標	245,000点	245,250点	245,500点	245,750点	250,000点/年	D	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館やイベントの中止をしたため利用者が減少している。
			実績	227,377点/年	230,233点	163,772点	171,919点			
予科練平和記念館の充実 2415	予科練平和記念館を拠点として、平和教育を推進し、様々な人に平和の大切さが浸透しています。	予科練平和記念館の来館者数【1132の再掲】	目標	50,000人	51,000人	53,000人	55,000人	60,000人/年	D	新型コロナウイルス感染拡大に伴い臨時休館やイベントの中止を余儀なくされた。開館日数は通常期の308日に対し、87日（28.25%）に止まり、来館者数もコロナ禍以前のH30年度比△81.5%と大幅に減少した。同じく学校関係の来館も50校から18校に大幅に減少している。コロナ禍にあって、平和の大切さ、生命の尊さを発信する方法とし、直接来館以外にウェブ等を活用した発信方法の拡充を図る。
			実績	51,128人/年	44,528人	19,546人	9,444人			
		予科練平和記念館のイベント開催数【1132の再掲】	目標	12回	12回	13回	15回	15回/年	D	
			実績	12回/年	14回	0回	0回			
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>C</b>

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>II</b>

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	生涯学習課	
副担当課	課	指導室	
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	4	いつでもどこでもだれでも学べるまちづくり
	項	2	社会全体で取り組む教育の推進

## 1 目指すまちの姿

地域・家庭・学校・行政が一体となり、地域全体で子どもたちの教育に取り組んでいます。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
家庭教育への支援 2421	家庭教育に関する学習機会の提供や人材育成のための経済的支援などが行われ、家庭の教育環境が向上しています。	家庭教育座談会への参加者数	目標	3,200人	3,400人	3,600人	3,800人	4,000人/年	C	親や子どもを取り巻く地域や社会の大きな変化の中で、社会全体で親子の学びや育ちを支える環境を整備することが課題となっている。
			実績	3,115人/年	2,456人	0人	295人			
地域教育力の向上 2422	地域住民が一体となり、地域の子どもたちの教育を支援しています。	子ども会育成連合会事業参加者数	目標	4,500人	4,500人	4,500人	4,500人	4,500人/年	C	各単位子ども会育成会の活動を調整・援助し、地域住民の理解と協力を高めて、町内子ども会の発展と、児童福祉の増進を図る。
			実績	4,619人/年	4,646人	5,016人	4,875人			
青少年健全育成・体験活動の推進 2423	地域住民や団体によって、多くの豊かな人間性を育む体験活動の機会が提供されています。	学社連携事業参加人数	目標	33,000人	33,000人	33,000人	33,000人	33,000人/年	C	家庭・学校・地域が連携し、多様な学習の場や活動の場を提供し、子どもが「生きる力」を育む支援をするともに、「開かれた学校」の実現へ取り組んでいく。
			実績	34,977人/年	35,533人	6,185人	6,523人			
人権尊重の視点に たつた生涯学習の 推進 2424	生涯学習を通じて、人権尊重の視点が地域社会に浸透しています。	人権教育講演会開催回数	目標	2回	2回	2回	2回	2回/年	B	人権尊重のための知識・技術・態度を養うため人権教育講演会を実施する。
			実績	2回/年	2回	0回	2回			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	C

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II



# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	生涯学習課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	4	いつでもどこでもだれでも学べるまちづくり
	項	3	スポーツの振興

## 1 目指すまちの姿

町民の誰もが気軽にスポーツに親しめる環境が充実し、青少年の健全育成と町民の健康づくりに役立っています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
活力ある生涯スポーツの振興 2431	より多くの町民が生涯スポーツに参加し、健康の維持・増進に取り組んでいます。	町民運動会の参加行政区率	目標	0%	91%	94%	97%	100%	D	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にした。	
			実績	89%	0%	0%	0%				
		スポーツ教室開催数	目標	2回	2回	3回	4回	5回以上/年	B		目標回数を達成することができた。
			実績	2回/年	1回	0回	3回				
スポーツ施設の充実 2432	運動公園や体育館などのスポーツ施設のほか、学校体育館や公園などの身近な施設も活用し、多くの町民がスポーツを安全に楽しんでいます。	スポーツ施設の年間延べ利用者数	目標	235,000人	238,500人	242,000人	245,500人	250,000人/年	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため体育施設の利用を制限した。	
			実績	233,947人/年	207,965人	117,981人	127,580人				
		目標									
		実績									
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

## 3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>C</b> 町民運動会は、町民アンケートの結果を区長会と協議して、令和4年度から自由参加型のスポーツフェスティバルとして実施することに決定した。 今後は新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分留意しながら、生涯スポーツの推進を図る。

## 4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>II</b> 町民運動会は、個人自由参加によるスポーツフェスタとすることとなった。 今後は新型コロナウイルス感染症の感染対策を取りながら、生涯スポーツの推進のため事業を行っていく必要がある。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	生涯学習課	
副担当課	課	中央公民館	
総合計画の 位置づけ	章	2	人を育むまちづくり
	節	4	いつでもどこでもだれでも学べるまちづくり
	項	4	文化芸術活動の推進と文化財保護

## 1 目指すまちの姿

**伝統文化の継承や文化芸術活動の育成・支援により、新たな町の文化が生まれ、  
みんながふれあう文化芸術のまちづくりが進んでいます。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況				
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題		
文化芸術活動の 推進 2441	文化啓発のためのイベント・展示会などが多く開催され、質の高い文化にふれる機会や町民の作品等を発表する機会が増えています。	芸術展への出展作品数	目標	730点	840点	950点	1,000点	1,100点/年	D	令和3年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。		
			実績	674点/年	827点	中止	中止					
		音楽で元気にするまちづくり事業の参加者数	目標	2,200人	2,300人	2,600人	2,900人	3,200人/年	D		令和3年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。	
			実績	2,297人/年	1,963人	中止	中止					
		文化芸術ボランティア登録数	目標	4人	8人	12人	16人	20人	C			これからの文化・芸術の振興には、町民の協力が必要であり、ボランティア登録の募集を行い、文化芸術振興の協力をお願いする。
			実績	2人	4人	6人	5人					
文化財保護・活用 2442	地域の伝統文化を継承していくための取組みや文化財の保護・活用が進んでいます。	伝統芸能まつり参加団体	目標	10団体以上	10団体以上	10団体以上	10団体以上	10団体以上	D	町民に、広く町の歴史や伝統芸能を紹介し、次世代へ継承していくため取り組むとともに、文化財の保護・活用を図っていく。		
			実績	10団体	13団体	中止	中止					
			目標									
			実績									
			目標									
			実績									
			目標									
			実績									

## 3 施策の進捗状況

	区分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	D	質の高い文化芸術にふれる機会や地域に根差した伝統文化の継承が求められているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの事業が中止になった。

## 4 今後の方向性

	区分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II	今後は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意しながらも、伝統芸能等の継承を図っていくかなければならない。

## 第3章 暮らしを支えるまちづくり

### 第1節 総合的・計画的なまちづくり

- 1 土地利用
- 2 市街地の整備

### 第2節 快適で住みよいまちづくり

- 1 交通体系・公共交通の充実
- 2 道路の整備及び維持・管理
- 3 公園・緑地の整備及び維持・管理
- 4 良好な住宅・住環境づくり
- 5 景観形成

### 第3節 活力と賑わいの産業づくり

- 1 農業の振興
- 2 商工業の振興
- 3 観光の振興

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	都市計画課		
副担当課	課			
総合計画の 位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり	
	節	1	総合的・計画的なまちづくり	
	項	1	土地利用	

## 1 目指すまちの姿

計画的な土地利用が行われ、快適で住みよいまちになっています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
計画的な土地利用 の推進 3111	都市の健全な発展と秩序ある整備が図られ、より良い環境になっています。	用途地域見直し 面積	目標	112.0ha	112ha	118ha	136ha	184.8ha	A	コンパクトシティを実現するため、立地適正化計画の適切な運用を図る。 荒川本郷地区等のまちづくりの進捗を見極め等を用途地域の見直しを適宜行っていく。
			実績	112.0ha	112.0ha	112ha	118ha			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

	区分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評 価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	A	上位計画に基づき、都市計画の見直し作業を実施している。

## 4 今後の方向性

	区分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必 要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	I	立地適正化計画の適切な運用を図り持続可能なまちづくりを進める。 荒川本郷地区等の新市街地ではまちづくりの進捗を注視し、地区計画等を見直しを適宜行う。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	都市計画課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	1	総合的・計画的なまちづくり
	項	2	市街地の整備

## 1 目指すまちの姿

**計画的に市街地が形成され、快適で住みよい魅力あるまちになっています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
市街地開発と都市 施設の整備 3121	魅力的な市街地が形成されることにより、町外からも多くの住民が移り住むようになります。	市街化区域内の都市計画道路整備率	目標	77.5%	77.9%	78.3%	79.26%	79.59%	C	荒川本郷地区内の計画道路における整備計画（基本計画）を検討する。
			実績	77.5%	77.9%	77.9%				
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

	区分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	C	荒川本郷地区内の民間事業者と一体となり土地開発事業を実施中であるが、一部事業に遅れてが生じている。

## 4 今後の方向性

	区分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	III	吉原地区では土地区画整理事業の完了に伴い業務内容を見直すことになるが、荒川本郷地区と同様に土地利用の進捗を見極め、適宜都市計画の見直しを進める。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	都市計画課		
副担当課	課			
総合計画の 位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり	
	節	2	快適で住みよいまちづくり	
	項	1	交通体系・公共交通の充実	

## 1 目指すまちの姿

町内や周辺地域への移動利便性が確保され、子どもから高齢者まで、すべての町民が便利に暮らしています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
公共交通の利便性向上 3211	公共交通の利用者が着々と増えています。	デマンドタクシー「あみまるくん」の乗降客数	目標	10,250	10,400	10,750	10,950	11,500 人/年	C	コロナ禍において、公共交通の乗降者が昨年度よりは増えたもののR1に比べ減少傾向にある。 コロナ禍収束後の利用者増加に向け、PR活動、運転免許証返納者の支援等、対策の検討が必要である。
		実績	10,150 人/年	11,729	8,693	9,916				
		路線バスの乗降客数	目標	3,100	3,200	3,300	3,400	3,500 人/日	C	
		実績	3,140 人/日	3,113	2,493	2,609				
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

	区分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗が遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	C	デマンドタクシーは、運行開始以来登録者は増加傾向にあり一部の利用者にとって有効な移動手段として定着しているが、その一方、認知度が低い状況があるなど利便性向上が図れていない。

## 4 今後の方向性

	区分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II	デマンドタクシーの利便性向上に取り組む。 地域公共交通計画の策定に伴い、地域公共交通の維持確保を行うための方針・施策の検証を進める。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	道路課	
副担当課	課	都市整備課	
総合計画の位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	2	快適で住みよいまちづくり
	項	2	道路の整備及び維持・管理

## 1 目指すまちの姿

**町民が安全で快適に道路を利用し、広域的なネットワークとの連携が強化され、さらに交通利便性が高いまちになっています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
生活道路の整備・維持・管理 3221	安全で快適な町道となっています。	町道の整備の進捗率	目標	/	62.2%	62.3%	62.4%	62.5%	62.6%	A	町道整備は、限りある財源の中で多くの要望にスピーディに応えられるよう、それぞれの地域の実情にあった整備方法（簡易舗装等）を取り入れる柔軟さが必要である。また、国の交付金を有効に活用することが求められている。道路修繕は計画的に進め長寿命化及びLCCの縮減を図るが、老朽化した道路施設の大量更新時代を迎えるため、さらに道路の維持修繕に力を入れる必要がある。他には、高齢者にも優しいきめ細かな道路バリアフリー化や子どもの命を守る交通安全対策の強化が求められている。
			実績	62.4%	63.5%	63.6%	63.8%				
		道路舗装修繕延長（5ヶ年）	目標	/	2.0km	5.0km	8.0km	10.5km	13 km	A	
			実績	1.9km	2.3km	7.4km	11.0km				
都市計画道路の整備 3222	都市計画道路が整備され、便利な道路ネットワークが形成されています。	都市計画道路の供用開始率	目標	/	68.1%	68.1%	68.1%	68.1%	69.7%	B	現在整備を進めている都市計画道路寺子・飯倉線の一部事業用地の交渉が難航しており、未取得となっている。
			実績	68.1%	68.1%	68.1%	68.1%				
			目標	/							
			実績								
			目標	/							
			実績								
			目標	/							
			実績								
			目標	/							
			実績								

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗が遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>A</b>

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>II</b>

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	都市整備課		
副担当課	課	都市計画課		
総合計画の 位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり	
	節	2	快適で住みよいまちづくり	
	項	3	公園・緑地の整備及び維持・管理	

## 1 目指すまちの姿

**公園や緑地がコミュニティ活動やスポーツ・レクリエーション、避難場所などとして積極的に活用され、町民と行政が連携して維持・管理に取り組んでいます。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
身近な公園・緑地の整備 3231	町民ニーズを反映した、快適に利用できる公園が身近に整備されています。	町民一人あたりの都市公園面積	目標	7.8㎡	7.8㎡	7.8㎡	7.8㎡	7.8㎡	A	開発等による適正な公園整備指導を進める一方曙地区街区公園の整備を進める。
			実績	7.7㎡/人	7.9㎡	8.0㎡	7.9㎡			
公園・緑地の維持管理 3232	町民が快適に公園・緑地を利用するとともに、公園緑地里親制度を活用した管理を行っています。	公園緑地里親制度への登録団体数	目標	31団体	33団体	34団体	35団体	32団体以上	B	地域住民団体等による環境美化等におけるボランティア活動に対し地域の理解を求め、里親登録団体数の増加が求められる。
			実績	30団体	33団体	33団体	33団体			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>B</b> ・公園緑地の整備は吉原地区土地区画整理事業等による公園整備や令和6年度開園予定の曙地区街区公園の整備事業を進めている。 ・公園緑地の良好な環境を維持していく一つの手法として、里親制度登録団体数の更なる増加が重要であるが、少子高齢化が進む中、ボランティア活動に対して地域の理解を得ることが困難となっている。

## 4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>II</b> ・荒川本郷地区の公園整備計画や開発等による適正な公園整備の検討に取り組む。 ・町民協働による公園等の維持管理を推進するため、里親に登録する団体数の増加に取り組む。また、遊具等は経年劣化に伴う管理費用が増加傾向にあり、良好な環境づくりの課題となっていることから、その対策の検討に取り組む。



# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	都市計画課		
副担当課	課	都市整備課		
総合計画の 位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり	
	節	2	快適で住みよいまちづくり	
	項	4	良好な住宅・住環境づくり	

## 1 目指すまちの姿

町民が快適で安心して暮らせる住環境が整っています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
良好な住環境づくり 3241	住環境を維持・向上するための 取組みが各地区でなされていま す。	都市計画における 地区計画決定 (変更)の地区数	目標	5地区	8地区	8地区	8地区	12地区	B	良好な住環境を確保しつつ、土地利用に 対する住民ニーズに対応するため、市街化 の進捗に合わせた地区計画の見直しが適宜 必要となっている。	
			実績	5地区	5地区	8地区					
		耐震診断・設計・ 改修件数	目標	5件	5件	5件	5件	75件	B		
			実績	0件	3件	3件	6件				
町営住宅の管理 3242	町営住宅の入居者が安全で快 適に生活しています。	町営住宅の修繕 率	目標	100%	100%	100%	100%	100%	A	破損や不具合が発覚した場合は、緊急に 修繕等を実施するとともに、計画的な修繕を 実施する必要がある。	
			実績	100%	100%	100%	100%				
		町営住宅使用料 収納率	目標	97%	97.8 %	98.6 %	99.2 %	100%	C		
			実績	96.6%	96.4 %	95.2 %	95.3				
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

## 3 施策の進捗状況

	区 分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評 価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>C</b> ・町営住宅の環境維持には、長寿命化計画に基づく計画的な修繕や、滞納者への更なる対策の強化が必要である。

## 4 今後の方向性

	区 分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必 要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>II</b> ・社会情勢や土地利用の現状を的確に把握し、安心安全なまちづくりを継続する。 ・令和2年度策定した町営住宅の長寿命化計画に基づいた大規模改修に着手する。また、町営住宅使用料の滞納者への対策強化を検討する。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	都市計画課		
副担当課	課			
総合計画の 位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり	
	節	2	快適で住みよいまちづくり	
	項	5	景観形成	

## 1 目指すまちの姿

**町民と行政が協力して景観づくりに取り組み、美しく魅力あるまちになっています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況			
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
<b>魅力あるまち 並みづくり 3251</b>	町民が、美しく魅力ある景観づくりに貢献しています。	助成した生垣の総延長	目標	1,900m	1,950m	2,000m	2,100m	2,200m	<b>D</b>	制度活用する申請件数が伸び悩んでいるため、事業の趣旨を多くの町民に周知する工夫が必要である。	
			実績	1,805m	1,844m	1,862m					
		景観形成道路清掃等ボランティア参加団体	目標	13団体	-	-	-	14団体			対象路線の整備完了に伴い事業を終了する。
			実績	12団体	0団体	0団体	0団体				
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

## 3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>C</b> 町民に対し景観形成ガイドラインの認知度が低く、景観形成道路における景観並びに緑化の推進が停滞している。制度や活用を含め景観整備計画の見直しを再検討する必要がある。

## 4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>III</b> 町の景観整備事業における補助金を大幅に見直すため、景観形成ガイドライン等の検証を進める。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	農業振興課	
副担当課	課	農業委員会事務局, 学校給食センター	
総合計画の位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	3	活力と賑わいの産業づくり
	項	1	農業の振興

## 1 目指すまちの姿

農業が魅力ある産業となり、意欲ある新規就農者や農業後継者などが増加し、活力ある農業が展開されています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
農業振興支援策の充実 3311	新たな消費者ニーズに合った取り組みを推進し、農業の振興が図られています。	認定農業者数	目標	86人	87人	88人	89人	90人	A	近年では高齢化による認定者数の減少も見られるところであり、地域ごとに農業の担い手となる認定農業者の発掘・育成が必要である。 加工施設の確保や販路開拓が難しい。
			実績	86人	86人	89人	84人			
		第六次産業認定者数	目標	12人	12人	12人	12人	12人	B	
			実績	6人	11人	11人	11人			
担い手の育成 3312	新規就農者や農業後継者により、将来の農業の担い手が確保されています。	青年就農給付金(経営開始型)支援者数(累計)	目標	12人	13人	14人	15人	16人	A	認定新規就農者については「農業次世代人材投資資金(R4からは新規就農者育成総合対策)」を支給し支援している。目標値には到達しているものの、営農定着できず途中離農する者もいる。
			実績	12人	13人	14人	17人			
		農業後継者等支援者数	目標	12人	12人	12人	12人	12人	A	
			実績	12人	12人	13人	13人			
生産基盤の整備 3313	老朽化した農業施設を修繕することにより、農村環境の整備や生産性の向上が図られています。	農地維持支払交付金・資源向上支払交付金対象面積【4322に再掲】	目標	328ha	329ha	329ha	340ha	340ha	B	農業施設の老朽化が進み、要望が増加している。計画的修繕が課題。
			実績	327ha	338ha	405ha	405ha			
耕作放棄地の活用 3314	耕作を放棄された農地の再生を推進することにより、優良な農地として有効に活用されています。	耕作放棄地再生面積	目標	4.0ha	4.0ha	4.0ha	4.0ha	4.0ha/年	B	国・県の補助金が廃止されたことにより取組が減少している。耕作放棄地を含む集団的農地について再生、集約化し、生産に意欲的な農業生産法人等へ誘導を図り、生産基盤の定着と戦略作物の産地化を図っていく。
			実績	1.6ha/年	0.19ha	0.7ha	1.1ha			
環境に配慮した農業の推進 3315	環境にやさしい農業と、持続性の高い農業生産方式が浸透しています。	特別栽培農産物数	目標	44	47	50	53	56	A	化学合成農薬や化学肥料を削減するなど、より安全で安心な農産物や環境にやさしい農産物を求める消費者ニーズに対応した農業生産の拡大を図る必要がある。
			実績	34(H29)	45	45	45			
地産地消の推進 3316	町民が、地域で生産された農産物をより多く消費し、環境負荷の少ない生活を営んでいます。	学校給食で茨城県産食材の占める割合【2331の再掲】	目標	92%以上	92%以上	92%以上	92%以上	92%以上	A	学校給食の県産食材割合は、目標値を上回る実績となった。町内・県内産の食材を活用するよう、献立を工夫しながら今後も継続していく。
			実績	92.0%	93.6%	96.2%	98.3%			

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	I

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	商工観光課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	3	活力と賑わいの産業づくり
	項	2	商工業の振興

## 1 目指すまちの姿

企業にとって魅力ある事業環境の中で企業の投資が進み、町内企業間の活発な交流や連携により、雇用の創出と地域経済の活力につながっています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況			
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
産業活性化の 推進 3321	様々な産業活動が活発に行われています。	従業員30人未満の事業所数	目標	/	1,430所	1,435所	1,440所	1,445所	1,450所	B	小規模事業者の経営は、全国的な人口減少や高齢化に伴い事業存続が厳しく、起業の数と廃業の数が拮抗している。商工会とも連携し、今後の廃業を抑え、起業を増やす仕組みが必要とされる。 スウィーツフェア参加店舗では、毎年新たな商品開発を進めており、今年度は新商品開発補助金の活用も増えている。新商品の継続的な販売やPRに関する支援が必要となる。
			実績	1,450所(H28)	1,450所(H28)	1,450所(H28)	1,450所(H28)				
		新商品開発事業に取り組んだ店舗数	目標	/	12店舗	14店舗	16店舗	18店舗	20店舗	A	
			実績	10店舗	10店舗	7店舗	15店舗				
企業誘致の推進 3322	町内へ企業が進出し、雇用や税収の増加につながっています。	阿見吉原土地区画整理事業地内分譲済割合	目標	/	65%	70%	75%	80%	85%	A	県企業局及び県宅地販売促進課が分譲する業務用地への立地企業が完了し、さらなる企業支援策の検討と立地企業へのフォローアップ強化が必要となる。
			実績	65%	73%	100%	100%				
雇用対策の推進 3323	町内で働く町民が増えています。	事業所従業員数(全産業)	目標	/	19,000人	19,500人	20,000人	20,500人	21,000人	B	新市街地への企業等の立地により雇用環境は改善し、就職セミナー等の開催による地元企業とのマッチングが重要となる。
			実績	18,935人(H28)	18,935人(H28)	18,935人(H28)	18,935人(H28)				
			目標	/							
			実績								

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	商工観光課	
副担当課	課	政策企画課, 都市整備課, 予科練平和記念館, 生涯学習課	
総合計画の 位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	3	活力と賑わいの産業づくり
	項	3	観光の振興

## 1 目指すまちの姿

町内の地域資源を再認識・再評価し、町民が気軽に余暇を楽しむとともに、多くの観光客が訪れるまちになっています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
観光資源の活用と発掘 3331	地域観光資源を活用したイベントや広域的な連携により、多くの観光客が訪れます。	霞ヶ浦周辺施設への観光客数	目標	/	60,000人	70,000人	80,000人	90,000人	100,000人/年	C	新型コロナウイルス感染症の影響により指標対象となる施設の臨時休館が増え、前年実績と比較すると大幅な数値減がみられた。今後も国や県の動向を注視し、観光客の誘客に対応していく。
			実績	51,128人/年	44,526人	19,512人	9,444人				
		新たな地域資源を活用したあみ観光協会主催事業数	目標	/	8件	8件	8件	8件	8件	A	
			実績	7件	7件	6件	8件				
観光PRの推進 3332	町に存在する観光資源を活用・PRすることで観光振興が図られています。	年間入込み客数	目標	/	3,400,000人	3,500,000人	3,600,000人	3,700,000人	3,800,000人/年	C	新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、集客施設への入り込み客数に大きな減少した。今後も国や県の動向を注視し、観光客の受け入れに対応していく。
			実績	3,525,728人/年	3,397,826人	2,550,000人	2,907,500人				
		あみ観光協会ホームページへのアクセス数	目標	/	19,000件	20,000件	21,000件	22,000件	23,000件/年	B	
			実績	18,434件/年	16,555件	21,830件	18,150人				
		レンタサイクル利用者数	目標	/	60人	70人	80人	90人	100人/年	C	
			実績	43人/年	51人	32人	2人				
			目標	/							
			実績								

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由	
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗が遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	C	コロナ禍の影響で指標の「新たな地域資源を活用したあみ観光協会主催事業数」以外の観光客数、入込客数、アクセス数、利用者数が減少したため。

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性	
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II	観光客数の減少要因の解析とともに、町内各施設の活用や霞ヶ浦周辺の観光資源を結びつけたコロナ禍若しくはコロナ終息を見据えた施策を検討する。

## 第4章 安全・安心のまちづくり

### 第1節 潤いのある生活環境づくり

- 1 上水道の整備及び維持・管理
- 2 下水道の整備及び維持・管理
- 3 河川・水路の環境整備

### 第2節 町民の生命と財産を守るまちづくり

- 1 地域防災対策の推進
- 2 消防・救急体制の充実
- 3 地域医療体制の充実
- 4 交通安全対策の推進
- 5 防犯対策の推進
- 6 消費生活対策の充実

### 第3節 環境を守り育むまちづくり

- 1 地球環境の保全
- 2 自然環境の保全
- 3 生活環境の向上
- 4 資源循環型社会の形成

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	上下水道課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	1	潤いのある生活環境づくり
	項	1	上水道の整備及び維持・管理

## 1 目指すまちな姿

**安全でおいしい水道水が利用できる環境づくりが進んでいます。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
安全でおいしい 水道水の供給 4111	町民が安全でおいしい水道水を利用することができます。	給水普及率	目標	86.2%	86.4%	86.6%	86.8%	87%	B	給水量は毎年増加傾向ではあるが、井戸からの切替による接続が伸び悩んでいることから、水道水の安全・安定性を広く周知し、更なる普及率の向上を図る必要がある。	
			実績	86%	86.9%	87.3%	87.9				
水道供給施設などの適切な維持管理・更新 4112	水道供給施設等が適切に機能しています。	水道管耐震化率	目標	53.7%	55.8%	48.5%	49.5%	50.5%	B	未だに耐震化率は低い水準であることから、適正な水道管更新計画により、耐震化の向上を推進する必要がある。 ※R2年度に管理延長の見直しを行ったため、目標値・実績値を修正している。	
			実績	53.5%	56.2%	47.5%	49.1%				
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

## 3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>B</b> ・水道未普及地区の整備を推進しており、概ね計画通りに進捗しているが、整備完了地区の接続が推進できていない状況である。 ・令和2年度に再策定した「水道施設整備基本計画書」により新たな更新計画を立案しているが、耐用年数の関係から中・長期的な更新計画となっており、耐震化の完了には相当な期間を要する見込みである。

## 4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>I</b> 施設の更新計画に基づく適切な管理、水安全計画策定の検討及び給水普及率の向上等、安全安心な水道の供給を持続可能にするための取り組みを進める。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	上下水道課		
副担当課	課	生活環境課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり	
	節	1	潤いのある生活環境づくり	
	項	2	下水道の整備及び維持・管理	

## 1 目指すまちな姿

**生活排水が適正に処理され、公衆衛生並びに河川・霞ヶ浦の水質が確保されています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
公共下水道の整備 と適切な維持管理・更新 4121	公共下水道が整備されるとともに、公共下水道の施設の適切な維持管理により、町民が快適で安心な環境で生活しています。	公共下水道普及率	目標	69.1%	69.4%	69.6%	69.9%	70%	B	下水道の整備促進により普及率は向上しているが、未接続者への対応等について課題が生じている。
			実績	69.3%	70.1%	71.0%	71.3%			
農業集落排水事業の健全経営 4122	農業集落排水施設の適切な維持管理によって汚水浄化が進み、農業用排水や公共用水域の水質が保全され、町民が快適な環境で生活しています。	接続率	目標	79.0%	81.0%	83.0%	84.0%	85%	C	補助金等の活用により接続率の向上に努めているが、大幅な改善が図れない状況である。また、処理場等の老朽化が進行していることから、今後の維持管理方針の検討が急務となっている。
			実績	79.1%	80.9%	81.1%	81.8%			
高度処理型浄化槽の普及促進 4123	高度処理型浄化槽が普及するとともに、適切に維持管理されています。	高度処理型浄化槽の設置補助件数(年間)	目標	70件	70件	70件	70件	74件/年	B	家庭排水浄化対策として合併浄化槽へ転換する家庭は多いが、いまだ単独浄化槽を使っている家庭もあることから、啓発活動の必要がある。
			実績	81件/年	63件	61件	62件			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	C ・公共下水道及び農業集落排水事業の接続率の向上や施設の老朽化対策など、維持管理全般に課題が生じており、良好な環境の維持へ向けて更なる対策の検討が必要である。

## 4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II 接続補助金制度の周知や戸別訪問等を積極的に実施し、下水道の接続率向上を図る。また、高度処理型浄化槽を普及させる啓蒙活動に取り組む。



# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	都市整備課		
副担当課	課	上下水道課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のみちづくり	
	節	1	潤いのある生活環境づくり	
	項	3	河川・水路の環境整備	

## 1 目指すまちの姿

**治水と親水性を持つ河川が整備され、市街地等の雨水排水と合わせて、  
浸水被害が少ない安全なまちになっています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
河川環境の保 全と整備 4131	町民が河川に親しみ、自らが管 理を行っています。	河川清掃への参 加者数	目標	75人	90人	120人	150人	184人 /年	B	桂川周辺の地域による清掃活動は、高齢 化の進行によって参加者数の減少が危惧さ れる。
			実績	75人/ 年	78人	144人	110人			
公共下水道雨 水施設の整備 4132	新市街地における雨水排水施 設が整備され、町民が安全な環 境で生活しています。	公共下水道雨水 整備区域	目標	173.6 ha	360 ha	360 ha	360 ha	360 ha	B	新市街地である荒川本郷地区における開 発等の動向に注視しながら、適正な整備計 画を検討する必要がある。
			実績	173.6 ha	183.4 ha	295.7 ha	295.7 ha			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

	区 分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評 価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>B</b> ・桂川の良好な環境を維持するため、地域住民参加による河川清掃ボランティアの更なる増加が重 要であるが、少子高齢化が進む中、ボランティア活動に対して地域の理解を得ることが困難となっ てきている。 ・雨水整備区域は目標に達していないが、開発等の進捗に合わせて概ね順調に整備が進んでいる。

## 4 今後の方向性

	区 分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必 要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>II</b> ・河川改修が未完了の乙戸川や桂川では、台風等の大雨時に河川の氾濫による道路冠水等の被 害が発生しており、安全・安心な地域づくりに支障をきたしている。そのため、施設の的確な維持管理 を図り、浸水被害の抑制に向けた取り組みを行う。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	防災危機管理課	
副担当課	課		
総合計画の位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	2	町民の生命と財産を守るまちづくり
	項	1	地域防災対策の推進

## 1 目指すまちの姿

**「町民（自助）」、「地域コミュニティ（共助）」、「町（公助）」がそれぞれの責務と役割を認識し、相互に連携を図り、防災力が向上しています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
地域防災力の向上 4211	災害時の被害を最小限にするため、町民が自発的に地域防災に取り組んでいます。	地区防災計画の策定率	目標	36%	47%	56%	65%	70%	D	R3年度もコロナ禍によりワークショップの開催を中止したため、予定していた地区防災計画を策定することはできなかった。今後はコロナ禍でも策定可能なマニュアルや手法を再構築することにより、早期の全地区完了にむけて支援する必要がある。
			実績	24%	36%	36%	36%			
		自主防災組織の訓練実施率	目標	30%	35%	39%	44%	50%	D	
			実績	24%	24%	5%	6%			
防災機能の強化 4212	災害時に被害を最小限にとどめるため、危機事態への迅速・的確な初動態勢を確立しています。	災害対策本部組織の機能別訓練実施回数	目標	6回	7回	8回	9回	10回/年	B	訓練の回数こそ増加したが、コロナ禍により当初予定していた訓練が延期ないし中止になることがあった。計画的な訓練の実施や、実践に即した訓練等を通じて、公助の能力を向上させていきたい。
			実績	6回/年	6回	7回	8回			
		情報伝達（収集）手段の整備件数	目標	6件	7件	7件	7件	8件	B	
			実績	5件	6件	7件	7件			
災害時応援協定の締結 4213	災害時の応援体制及び受援体制が整い、民間事業者や他自治体から応急対策等の協力が得られています。	民間事業者との協定締結数	目標	37件	38件	39件	40件	40件	A	必要な業種を洗い出した上で積極的に協定を結んでいく。
			実績	35件	40件	45件	47件			
		県外自治体との協定締結数【1272の再掲】	目標	2件	2件	2件	3件	4件	B	
			実績	2件	2件	2件	2件			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>B</b> 令和3年度もコロナ禍の影響が大きく、対住民の事業を中心に遅れが生じているが、このような時期だからこそ業務の必要性や見直しについて冷静に考え直す必要がある。

## 4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>II</b> コロナ禍の影響もあり「地区防災計画」の策定が停滞しているが、各自主防災組織が策定しやすいようにテンプレートを示し、その後、自主避難訓練等を通し計画の実効性を高めていく等、手順の見直しが必要である。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	防災危機管理課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のみちづくり
	節	2	町民の生命と財産を守るまちづくり
	項	2	消防・救急体制の充実

## 1 目指すまちの姿

**消防体制及び救急救護体制が一層充実し、安全で安心な生活が確保されています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
非常備消防体制の充実 4221	地域に密着した災害活動を行うことにより、町民の安全を確保し、町民主体の消防体制が確立されています。	消防団員充足率	目標	85%	87%	89%	90%	91%	C	令和3年度に役場消防部を立ち上げ、団員の確保に努めたが、消防団員数は減少の一途をたどっている。条例定数を改正し、実団員数に近づけることにより充足率を高める。
			実績	77.4%	72.6%	67.4%	66.7%			
消防・救急体制の強化 4222	町民が緊急時に適切な救急搬送サービスを受けています。	広報あみ・ホームページ等での救急車の適正利用についての周知回数	目標	3回	3回	3回	3回	3回	B	本郷ふれあいセンターの救急車駐留は着実に効果を上げている。ただし、適正利用がされなければ本来必要な人が利用できなくなるため、周知回数や新たな手法を取り入れる必要がある。
			実績	3回	3回	3回	3回			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>B</b>

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>II</b>

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	健康づくり課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	2	町民の生命と財産を守るまちづくり
	項	3	地域医療体制の充実

## 1 目指すまちの姿

医療体制が充実し、町民が安心して暮らすことができるまちになっています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
地域医療体制の充実 4231	病院及び診療所などの連携により、町民が一層充実した医療サービスを受けることができます。	「かかりつけ医」・「かかりつけ歯科医」の普及啓発を行った人数	目標	500人	1,000人	2,000人	3,500人	5,000人/年	C	町民が健康に関心を持ち、自らの健康管理ができるよう、かかりつけ医・歯科医の普及啓発が必要だが、より多くの人に啓発を行うことができるよう、引き続き検討が必要。
			実績	329人/年	393人	1061人	1577人			
救急医療体制の充実 4232	町民誰もが、必要な時に休日や夜間の救急医療を受けることができます。	病院群輪番制実施日数	目標	365日	365日	365日	365日	365日/年	A	病院群輪番制はすでに365日の実施ができており、小児救急医療輪番制についても、R2年度から医療機関の協力が得られ、祝日を含め365日実施となった。今後もこの体制を維持していく必要がある。
			実績	365日/年	365日	365日	365日			
		小児救急医療輪番制実施日数	目標	344日	365日	365日	365日	344日/年	A	
			実績	344日/年	337日	365日	365日			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	生活環境課	
副担当課	課	道路課, 学校教育課	
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のみちづくり
	節	2	町民の生命と財産を守るまちづくり
	項	4	交通安全対策の推進

## 1 目指すまちの姿

交通事故がなく、町民が安全・安心に暮らせるまちになっています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
交通安全対策の 充実 4241	町民が交通安全に関する高い意識を持ち、安心して生活しています。	交通安全教室の 参加者数	目標	5,400人	5,800人	6,200人	6,600人	7,000人/年	B	コロナ禍により人数制限を行いながら実施をしているため、交通安全教室の参加者数が目標値に達していないことから、	
			実績	5,055人/年	4,005人	900人	3,336人				
		交通安全教室開 催数	目標	50回	55回	60回	65回	70回/年	A		
			実績	46回/年	33回	25回	70回				
交通安全施設の 充実 4242	交通事故を未然に防ぐ環境と なっています。	信号機設置数	目標	103基	103基	103基	104基	105基	A	地元の要望が警察署で通るよう、資料作成を行っているが、警察署の設置基準のハードルが高く、地元要望が通らない。	
			実績	102基	103基	103基	103基				
		ゾーン30の指定 箇所数	目標	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	3箇所	A		
			実績	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所				
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評 価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	A

## 4 今後の方向性

手段を見直す必 要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	I

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	生活環境課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のみちづくり
	節	2	町民の生命と財産を守るまちづくり
	項	5	防犯対策の推進

## 1 目指すまちの姿

防犯対策が推進され犯罪のない安全・安心なまちになっています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
防犯意識の普及啓発等による防犯体制の強化 4251	町民が自主的に防犯活動を実施し、安全に生活しています。	防犯活動支援団体件数	目標	46件	51件	56件	61件	66件	C	町民が安全に生活するためには、防犯活動支援団体数を増やしパトロール数を増やす必要があるが、実態は活動団体数は増えていないため、すべての行政区に防犯活動に参加してもらえるよう検討を行う必要がある。
			実績	42件	42件	42件	42件			
		青色防犯パトロールの回数	目標	450回	490回	520回	560回	600回/年	C	
			実績	413回/年	423回	319回	394回			
安全な地域づくりのための環境整備 4252	防犯灯や防犯カメラの整備、空き家対策などにより、犯罪の起きにくいまちになっています。	LED防犯灯数	目標	6,000灯	6,000灯	6,000灯	6,000灯	6,000灯	A	地域の安全を確保するため、空き家の改善指導を行っているが、所有者のほとんどが町内に住んでいないことから、改善策に応じてもらえない。
			実績	5,916灯	6,028灯	6,095灯	6,153灯			
		空き家苦情による指導後の対応率	目標	48%	56%	64%	72%	80%	C	
			実績	42%	38%	39%	39%			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	商工観光課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	2	町民の生命と財産を守るまちづくり
	項	6	消費生活対策の充実

## 1 目指すまちの姿

**すべての町民の消費者としての権利が守られ、安全・安心な消費生活を送っています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
安全な消費生活の推進 4261	町民が安心して消費生活を送っています。	消費生活の啓発活動の実施回数	目標	24回	24回	25回	25回	26回	B	コロナ禍の影響により出前講座件数が減少しているため、事業紹介の対象を再検証し、HPや書面等を利用した効果的な啓発活動が必要となる。
			実績	25回	17回	18回	20回			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

	区分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B	コロナ禍の状況もあり出前講座や街頭啓発の実施回数が目標に届いていないが、町民へ情報を提供する機会を増やし、啓発活動を強化している。

## 4 今後の方向性

	区分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II	町民が安心して消費生活を送れるような情報発信を積極的に行い、啓蒙活動の増加に努める。

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	生活環境課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	3	環境を守り育むまちづくり
	項	1	地球環境の保全

## 1 目指すまちの姿

**町民・事業者・行政がそれぞれの役割を認識し、責任を持って積極的な地球環境保全活動に取り組んでいます。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
<b>地球環境保全 の推進 4311</b>	町民や行政が役割を認識し、 責任を持って積極的な地球環境 保全に取り組んでいます。	町内公共施設に おける温室効果ガ ス排出量	目標	2910t-CO2	2870t-CO2	2830t-CO2	2790t-CO2	2,746t-CO2	<b>B</b>	ゼロカーボンシティ宣言を表明することから、今以上に成果が上がる取組を行い、町民の手本となる行動を行う。
			実績	2957t-CO2	2910t-CO2	2695t-CO2	8月確定			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評 価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	<b>B</b> 令和3年度のデータは集計中ではあるが、温室効果ガスの排出量が年々減っていて順調に進んでいるが、温室効果ガスの排出量が増えている施設が一部あったため。

## 4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必 要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	<b>II</b> 「第2次環境基本計画」、「町地球温暖化対策実行計画」に基づき施策を推進すること。 町施設の茨城工事業所に関する取組については、実行が不明瞭な点が見受けられるので管理を強化する必要がある。



# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	農業振興課	
副担当課	課	生活環境課, 都市計画課, 上下水道課, 商工観光課, 道路課	
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	3	環境を守り育むまちづくり
	項	2	自然環境の保全

## 1 目指すまちの姿

恵まれた自然環境を次世代へ継承するため、町民、地域及びボランティア組織等が霞ヶ浦や、平地林、農業生産基盤の保全に取り組んでいます。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
豊かな森林の 保全 4321	豊かな森林を次世代に継承できるように、適切な管理や維持・保全が図られています。	平地林整備面積 (累計)	目標	158ha	158.5ha	159ha	159.5ha	160ha	A	身近なみどり整備推進事業 (R3) 上長・若栗・君島・島津 5.35ha R4より制度の見直しを行う
			実績	150ha	158ha	165.9ha	171.2			
農村環境の保全 4322	地域ぐるみでの環境保全により農地や水路などが保全され、美しい農村景観の中で農業が営まれています。	農地維持支払交付金・資源向上支払交付金対象面積【3313の再掲】	目標	338ha	338.5ha	339ha	339.5ha	340ha	B	農業施設の老朽化が進み、要望が増加している。計画的修繕が課題。
			実績	327ha	338ha	405ha	405ha			
霞ヶ浦の保全 4323	霞ヶ浦の水質が改善されています。	霞ヶ浦の水質検査のCOD	目標	7.4mg/ℓ以下	7.4mg/ℓ以下	7.4mg/ℓ以下	7.4mg/ℓ以下	7.4mg/ℓ以下	B	公共下水道・農業集落排水事業・合併浄化槽等家庭排水浄化対策と住民意識は高まっている。流域の水田・蓮田等からの肥料成分の流入が課題。
			実績	7.3mg/ℓ	6.9mg/ℓ	7.3mg/ℓ	算出中			
河川の推進保全 4324	霞ヶ浦流入河川の水質がきれいな状態に保たれています。	河川の水質検査のCOD	目標	7.9mg/ℓ	6.9mg/ℓ	5.9mg/ℓ	4.9mg/ℓ	4.0mg/ℓ	B	公共下水道・農業集落排水事業・合併浄化槽等家庭排水浄化対策と住民意識は高まっている。流域の水田・蓮田等からの肥料成分の流入が課題。
			実績	8.9mg/ℓ	3.7mg/ℓ	3.4mg/ℓ	5.5mg/ℓ			
霞ヶ浦の水辺の 整備 4325	水生植物の保全が図られるとともに、水辺環境が整備され、憩いの場として活用されています。	霞ヶ浦の清掃活動の参加者数	目標	310人	320人	330人	340人	350人/年	C	コロナ禍により、霞ヶ浦の清掃活動が中止となった。
			実績	303人/年	179人	0人	0人			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	I

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	生活環境課	
副担当課	課	廃棄物対策課	
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	3	環境を守り育むまちづくり
	項	3	生活環境の向上

## 1 目指すまちの姿

町内で活動するすべての人たちが、他人に迷惑をかけないという規範意識や責任感を持ち、近隣の共助により、互いに暮らしやすいまちになっています。

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
環境美化の推進 4331	ごみのポイ捨てや不法投棄がなく、きれいな環境の中で町民が生活しています。	空地の雑草苦情による指導後の対応率	目標	100%	100%	100%	100%	100%	B	環境美化に対する啓発活動の必要がある
		実績	97%	98%	96%	93%				
		不法投棄パトロールで回収したポイ捨てごみの量	目標	35t	31t	27t	23t	20t/年	B	
		実績	31.27t/年	31.72t	23.31t	24.45t				
動物愛護の普及啓発 4332	ペットが家族の一員として大切に飼われています。	町に保護された犬・猫の譲渡返還率	目標	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	B	狂犬病予防注射接種率を上げるための啓発活動の方法を検討する必要がある。
		実績	74%	75%	98%	96%				
		狂犬病予防接種率	目標	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	C	
		実績	66%	67%	61%	57%				
環境対策の推進 4333	町民が公害の被害を受けず、健康に生活しています。	騒音・振動・悪臭などの指導後の対応率	目標	100%	100%	100%	100%	100%	A	騒音・振動・悪臭以外の法律で違反があるかを調べ、違反があるようであれば、その担当課と一緒に指導を行っていく。
		実績	87%	76%	100%	100%				
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

## 3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

## 4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	III

# 令和4年度 施策評価シート

主担当課	課	廃棄物対策課		
副担当課	課			
総合計画の位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり	
	節	3	環境を守り育むまちづくり	
	項	4	資源循環型社会の形成	

## 1 目指すまちの姿

**町民、事業者、行政が連携し、ごみの発生抑制と再利用・再資源化などに努め、資源循環型社会を形成しています。**

## 2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況				
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題		
ごみの減量化・リサイクルの推進 4341	ごみの再資源化等により、ごみの減量化が図られています。	ごみの資源化率	目標	/	20%	20.5%	21%	21.5%	22%	C	今後もごみの減量化に努める	
			実績	19.8% (H29実績)	18.1% (H30実績)	23.5% (R01実績)	16.1% (R02実施)					
		ごみ収集量	目標	/	20,780t	20,560t	20,340t	20,120t	19,900t/年			B
			実績	20,952t (H29実績)	20,509t (H30実績)	18,409t (R01実績)	18,684t (R02)					
ごみ処理施設の適正な運営・維持管理 4342	ごみの処理が適正に行われています。	排出ガスなどの排出基準達成率	目標	/	100%	100%	100%	100%	100%	B	今後も適正な維持管理と運用を行う	
			実績	100%	100%	100%	100%					
		不具合による運転停止日数	目標	/	0日	0日	0日	0日	0日			B
			実績	0日	0日	0日	0日					
			目標	/								
			実績									
			目標	/								
			実績									
			目標	/								
			実績									

## 3 施策の進捗状況

	区分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗が遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	C	資源化率は目標値を下回ってしまったが、概ね目標達成に向かっている。

## 4 今後の方向性

	区分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	III	一人あたりのごみ排出量が県内ワースト上位であるが、資源ごみや食品ロスへの取組等、改善の余地はあるので計画し、実行していくこと。 霞・さくらクリーンセンターの次期構想について、様々な観点からの試案を行うこと。